

科目名	人文学演習 I H					単位	2.0
担当教員	渡邊 幸彦						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	3339

●授業のテーマ

中国文学を読むための基礎

●到達目標

漢文訓読の方法を理解し、自力で原書に訓点等を附して読解することができるようになる。

●学習内容(授業概要)

中国文学研究の第一歩は、当然のことながら、(我々日本人にとっては外国語である)漢文の作品をいかに正確によみとるかということにある。

その際、それがどの時代の誰の作品であれ、中国の創作の三千年にも及ぶ長い歴史と伝統の上に常に存在しているということを我々は心に留めておかなければならない。絶えず先人の作品を教養としつつ、間断なく創作がなされてきた背景を考えれば、表面的に辞書的に解釈しただけでは、本当の意味で正確に読みとったとはいえないからである。

そこで、先ず漢文を読む際に必要な工具書(辞書、事典、類書、年表、地図、索引など)にはどのようなものがあるかを確認し、その上で実際にそれらを用いて、伝統的な漢文の読み方を学んでいくことにする。

受講者には、綿密な準備と活発な議論を求める。

●学習内容(授業計画)

1. ガイダンス
2. 漢文訓読の基礎
3. 漢文訓読のトレーニング
4. 工具書の紹介と利用の仕方
5. テキストの選択
6. 『三国志』の背景
7. 『三国志』選読
8. 『三国志』選読(継続)
9. 『三国志』選読(継続)
10. 『三国志』選読(継続)
11. 『三国志』選読(継続)
12. 『三国志』選読(継続)
13. 『三国志』選読(継続)
14. 『三国志』選読(継続)
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前に中国文学、中国史、中国思想に関する基礎知識を調べておくこと。事後は、授業時に読んだテキストの内容をしっかりと復習して読解法についての知識を深めておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点5割、レポート試験5割

●テキスト（必携）

授業時に配布

●参考文献／その他

漢和辞典を用意すること

●履修上の注意

漢和辞典を用意し、毎時間携帯すること。